

山田



▲復興やまだ祭りでの長岡の夜神楽

▶威勢のいい海産物販売



▲世界大会4位となったパエリア職人たちが調理（写真右が栗原シェフ）



▲おみが和よさこい会「和氣謠々」は「歌舞伎」がテーマ

山田ふれあいまつり・おみがわYOSAKOIふるさとまつり

活気呼び込む まつり開幕

山田ふれあいまつり（11月3日）

今年は、香取山田の「山の幸」と岩手山田の「海の幸」がパエリアで共演。腕を振った栗原シェフは「食材の組み合わせも工夫しました。屋外で調理するパエリア本来のスタイルも味わって」と話していました。また前夜には「復興やまだ祭り」が開催。津波被害のあった岩手山田への支援活動報告の後、復興支援の募金を募りながら、焼きホタテや蒸しガキなどが振る舞われました。

おみがわYOSAKOIふるさとまつり（11月8日）

香取のふるさと祭り第2弾はおみがわYOSAKOIふるさとまつり。小見川市民センター「いぶき館」を中心に催されました。当日はあいにくの雨。と思いきや、ぬれて重くなった旗を力強くはためかせながら演技する様子はいつもにも増して大迫力。雨にも負けず、むしろ雨を味方に演技する全力の表情に拍手が絶えませんでした。

小見川



▲小見川幼稚園の園児も負けじと全力演技

まちかど通信

楽しくホットなまちの話題をご紹介します

昭和の名車大集合

入念な手入れの結晶



▲細部まで手抜きなし

県立中央博物館大利根分館で、昭和30年代～60年代の名車の数々が11月3日に展示されました。会場には往年のスカイラインやフェアレディなど、70台を超えるオールドカーやバイクがずらり。その様子に、訪れたたくさんのオールドカーファンの目は磨き上げられた車体同様にキラキラと輝き、オーナーの「同じようだけどエンブレムが違うんだ」「このパーツがなかなか手に入らなくて!」というこだわりや整備の苦労話に興味深そうにうなずいていました。

バサーオールスタークラシック

1尾を求めて大河を疾走

10月24日と25日に日本最大規模のブラックバス釣りの大会「バサーオールスタークラシック2015」が水の郷さわらで開催され、全国からブラックバス釣りの愛好家が訪れました。

大会には日本を代表する20人のトッププロが参加し、利根川、霞ヶ浦、北浦などの広大なエリアをボートで疾走。会場内のメーカーブースで釣りざおなどが当たるくじ引きやセミナーが行われ来場者を楽しませたほか、選手が釣り上げたブラックバスを披露する「ウェイインショー」では、大物が披露されるたびに観客席から大歓声が沸き起こりました。



▲「ナイスフィッシュで〜す!」の大歓声

赤ちゃん先生プロジェクト

はくく
優しさ育む不思議な力

10月27日・29日、佐原第五中学校の教室から赤ちゃんの声が聞こえてきます…？ これはNPO法人ママの働き方応援隊による赤ちゃん先生プロジェクト。赤ちゃんとお母さんが学校へおもむき、赤ちゃんとのふれあいを通じて癒し、笑顔、命の尊さを伝えるもので、2年生の生徒59人が



▲そーっと抱っこ、先生いかがですか？

が参加しました。これは中学生対象としては、県内初の試みでした。生徒たちは、お母さんに促され赤ちゃんとお母さんの手の大きさを比べ、「こんなに違う」と驚きつつも感激した様子。また、赤ちゃんを預けられると、「(力加減が分からなくて) こわい。でも笑ってくれてうれしい」「すごく軽い、かわいい」といった声が次々とあがり、たちまち赤ちゃん先生に夢中になりました。

みて見て
Lovely Kids of Katori
うさぎの子



ぼくはいつでもマイペース♪♪

しもこうべ おさむ
下河辺 理くん
1歳9カ月(高萩)
パパ 博さん ママ 裕子さん



お外遊び大好き♪お兄ちゃんにもお姉ちゃんにも負けたくないぞ★

てんかい ひいろ
天海 陽彩くん
1歳9カ月(伊地山)
パパ 恵さん ママ 理絵さん



兄妹一いらずら娘&食いしん坊？

みやもとのあ
宮本 希結ちゃん
1歳9カ月(佐原ホ)
ママ 幸江さん



お砂遊びが大好きでダンスが得意です♡

なかばやし りん
中林 凜ちゃん
1歳9カ月(佐原ホ)
パパ 猛さん ママ 亜莉沙さん

全国障害者スポーツ大会で優勝／県大会も好成績

香取勢の飛躍

10月24日から26日まで和歌山県で開催された全国障害者スポーツ大会「紀の国わかやま大会」。全国から選手団約5,500人が参加し、個人競技6競技、団体競技7競技およびオープン競技が実施されました。フライングディスクでは香取洸司さん(多田)が飛距離を競う「ディスタンス」で52m91cmを記録し優勝。香取さんは「風が味方してくれて運がよかったです」と謙遜しながらも2位に10m以上の差をつけ、自己記録を更新しました。香取さんはその他、スローの正確さを競う「アキュラシー」でも銀メダルを獲得しました。

また、10月8日には、県総合スポーツセンターで千葉県障害者フライングディスク大会が行われ、48チームが参戦。女子団体総合で出場した増田美結さん(磯山)と岩瀬悦子さん、鈴代さん姉妹(佐原ホ)の「香取市手をつなぐ親の会」が2位に輝きました。



▲県大会に出場した「香取市手をつなぐ親の会」チームのみなさん



▲県大会で2位になった増田さん(中央)、岩瀬悦子さん(左)、鈴代さん(右)



▲全国大会で優勝した香取洸司さん



「俺たち最高！」

MEMBER

■活動日時 毎週火曜日 19時～20時30分ほか
■活動場所 府馬小学校体育館ほか
■問い合わせ 代表 八木
☎090(8587)8020

私たちのチーム名「MBK」は「ミニバスケットボール教室」の略。小学生を対象とした育成チームで、スポーツを通して子どもたちの体力と精神力を養うべく、有志により結成しました。

目標は、何と「全国制覇！」。今のところ、達成までには相当の長い道のり(？)が予想されますが、志を高く保ちながら数々の試合と練習を積み上げていきます。スローガンは「俺たち最高！」。

その合言葉は、オリジナルのチームTシャツにも大きくプリントされており、袖を通すたびにモチベーションも高揚。保護者も揃いのTシャツを着ることで、試合会場では当然の事ながら、行きも帰りも、その車中は正に鼓舞激励。



監督は「共に汗を流し、泣いたり笑ったりしながら過ごした貴重な時間を忘れずに、このチーム関係者全員が、将来も最高のチームメイトでありたい」と願う、名だたる熱血漢。それゆえに親子のコミュニケーションを図りながら日々、チームの絆を強めています。会員は「随時募集中」。子どもから大人まで、愉快な仲間を作りましょう！